

ご自由におとりください。



前立腺がんの診断と治療について

教えてドクター【麻酔科】

新規導入 医療機器の紹介

体・病院の素朴な疑問に答えます

病院創立100周年記念式典・特別講演を開催しました

～病院創立100周年記念～ 書籍『医療の力 福井赤十字病院』発刊のお知らせ

災害に備えるシリーズ【水害】

インスタグラムPICK UP

調理師おすすめレシピ

調理師
おすすめ

意外と簡単! シューアイス



今回ご紹介するシュー生地は、材料も作り方もとてもシンプルです。クリームを挟んでも美味しいですが、今回はアイスクリームを挟んで「シューアイス」に仕上げました。暑い時期、食欲のないときの手軽なエネルギー補給に、お好みのアイスクリームでアレンジしてみてくださいはいかがでしょうか。

焼きあげたシュー生地はラップに包んで冷凍保存できるので、食べたい時にすぐ食べられますよ!

担当:調理師 伊東いずみ

材料(直径5cm・12個分)

- シュー生地の材料
 - バター.....45g
 - 水.....100cc(1/2カップ)
 - 小麦粉(薄力粉).....45g(ふるっておく)
 - 卵.....2個(Mサイズ)
- アイス.....お好きなアイスクリーム適量

栄養量(1個分)

	シュー生地	アイスクリーム60g*	計
エネルギー	56kcal	80kcal	136kcal
たんぱく質	1.6g	1.4g	3.0g
脂質	4.1g	3.8g	7.9g
炭水化物	2.9g	10g	12.9g
塩分	0.1g	0.06g	0.16g
カルシウム	5.9mg	65mg	70.9mg

*記載したアイスクリームの栄養価は一例です。召し上がるアイスの表示などをご確認ください。

作り方

①鍋に分量のバターと水を入れ、火にかけて煮溶かします。バターが完全に溶け、煮え立った中に小麦粉を入れ、木べらで手早く混ぜます。20秒くらいでひとつにまとまり、鍋肌から離れはじめたら火からおろします。

②卵2個を溶いて①の生地の中に少しずつ(4回くらいに分けて)入れていきます。なめらかになるまでよく混ぜます。



③クッキングシートを敷いた天板に、スプーンや絞り袋で生地を丸く落とし、230～240度に予熱したオーブンで20～25分焼き上げます。生地の割れ目までしっかり焼けていれば完成です。ご使用のオーブンにより温度や焼き時間は調整してください。



④焼きあがったら皿に移します。ラップをふんわりかけておくとしっとりします。冷めたらシュー皮にお好みのアイスクリームを挟んで完成です。

市民公開講座のご案内

生きる力を考える～がんと向きあういのちの舞台～

- 日時:令和7年9月7日(日)13:00～16:00 ●場所:フェニックス・プラザ 小ホール ●共催:福井赤十字病院・福井新聞社
- 講座内容/講演1「希望を支える医療を福井で～ロボット支援手術・腹腔鏡手術で挑む大腸がん～」 演者:消化器外科副部長 平崎 憲範
講演2「小さなキズで大きな安心を～肺がん手術の進化～」 演者:呼吸器外科副部長 山岸 弘哉
特別講演「**専門のがん日記～前立腺がんを摘出して～**」 演者:宮本 亞門氏
パネルディスカッション:がんと向きあう医療の現場において、「生きる力」とは何か。それぞれの立場で語り合います。

※詳細は院内掲示板および当院HPにてご確認ください。

お申込みは
こちら



今月の表紙

泌尿器科専門医が多数在籍

当院では泌尿器科専門医が多数在籍しており、前立腺がんに限らず、泌尿器科領域のがん全般の診断・治療、その他、排尿障害、尿路結石など、幅広く診療を行っています。ロボット支援手術など複数の治療法に対応しており、担当医が患者さん一人ひとりに合わせた治療計画をご提案します。安心して、どうぞお気軽にご相談ください。



カンファレンスの様子

福井赤十字病院

理念

人道・博愛の精神のもと、県民が求める優れた医療を行います。

基本方針

- 患者さんの権利と意思を尊重し、協働して医療を行います。
- 安全と質を向上させ、優しい医療を行います。
- 人間性豊かで専門性を兼ね備えた医療人を育成します。
- 急性期医療・疾病予防・災害時医療に積極的に取り組みます。
- 保健・医療・福祉と連携し、地域社会に貢献します。

〒918-8501
福井県福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630代
FAX.0776-36-4133

ホームページ



広報に関する
ご意見、ご感想を
お待ちしております。

読者アンケート



前立腺がんの診断と治療について



泌尿器科科長
角野 佳史

前立腺は男性生殖器の一部で、膀胱のすぐ下に位置し、尿道を取り囲むように存在しています。主な役割は、精液の一部を構成する前立腺液を分泌することで、精子の栄養や運動を助ける働きをします。前立腺がんは、特に中高年の男性に多くみられ、日本でも近年、診断数は増加しています。

腸診)。また、同様に棒状の超音波装置を挿入し、前立腺の形状や大きさなどを観察します。さらに、MRI検査を行い、前立腺でのがんの状態を評価します。確定診断には、超音波ガイド下に針で前立腺組織を採取する「針生検」が必要です。顕微鏡でがん細胞の有無や、がんの悪性度(グリソンスコア)の評価も行います。

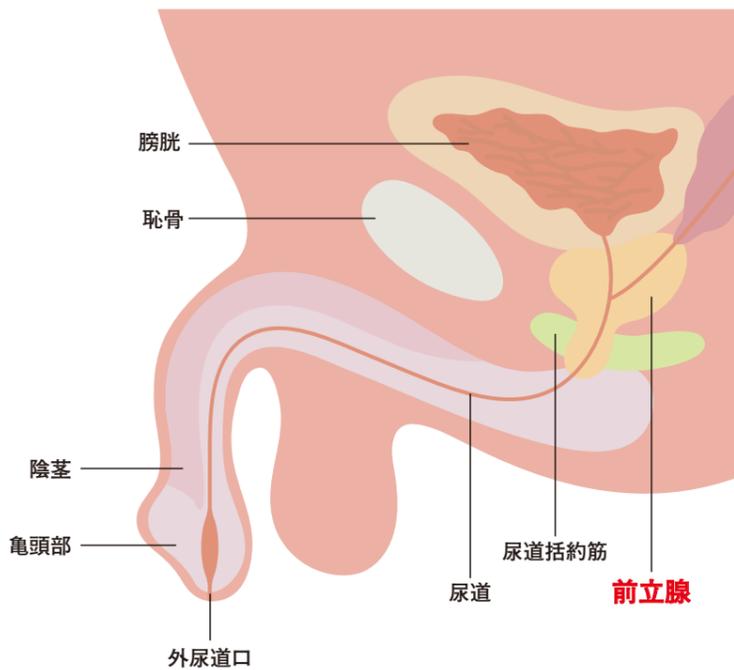
① 診断の流れ

前立腺がんの検査は、主に健康診断や排尿などの症状に基づく受診から始まります。初期には前立腺がんが直接原因となる自覚症状がほとんどなく、血液でのPSA(前立腺特異抗原)検査で発見されることが多くなっています。PSAの値が高い場合、がんの可能性が疑われます。専門医に受診すると、医師が指を肛門から挿入し、前立腺を触診します(直

② がんの進行度と悪性度の評価

診断後は、CTや骨スキャンなどの画像検査を行い、がんの広がり(ステージ)を評価します。この結果をもとに治療方針を決定します。がんが前立腺内にとどまっている「限局がん」か、周囲に広がっている「局所進行がん」か、または転移がある「転移がん」かによって治療が大きく異なります。

《男性の下部尿路》



③ 治療法の選択肢

治療方法は、がんの進行度、年齢、全身状態、患者さんの希望などを考慮し総合的に判断します。

【監視療法】

がんの悪性度が低く小さい場合には、進行が非常に遅いと予想されるため、定期的な検査を行いながら経過を観察する方法が選択肢のひとつとなります。治療による副作用を避けたい方に適しています。

【手術療法(前立腺全摘除術)】

がんが前立腺に限局している場合に行われる根治的治療です。最近では、ほとんどがロボット支援手術となり、当院でも年間約50件のロボット支援下前立腺全摘除術を実施しています。当院には、ロボット支援手術の認定を受けた泌尿器科医が多数在籍しており、前立腺をはじめとした泌尿器科領域のロボット支援手術を行っています。また、ロボット支援手術の技術指導資格(プロクター認定)を有する医師も2名在籍しており、学会や関連学術団体が定める基準に沿った手術を提供しています。

【放射線治療】

当院では、体外から放射線を当てる外照射療法を行っています。また、希望に応じて、陽子線治療や前立腺内に放射線源を挿入する内部照射(小線源療法)の施行可能な施設にご紹介しています。

【ホルモン療法】

男性ホルモンが前立腺がんの進行を助長するため、その作用を抑える治療です。全身に効果が期待できるため、主に転移がある場合に用いられますが、放射線治療と併用することもあります。通常、最初の治療としては非常に有効ですが、治療が長期になると効果が無くなってくることも多く、治療の変更が必要になる場合があります。

【化学療法など】

がんが進行し、ホルモン療法が効かなくなつた場合などに抗がん剤が使用されます。前立腺がんは骨転移を起すことが多く、骨転移に特化した治療も考慮されます。また、病状により遺伝子変異の検査を行うことも可能であり、適応があった場合に選択される薬剤もあります。

④ 治療後の経過と副作用

治療後は、定期的なPSA検査や画像検査を組み合わせて、再発や進行の有無を確認します。治療法によっては、尿失禁や勃起障害、腸の不調などの副作用がみられる場合があります。生活の質や合併症も考慮しながら、治療法の選択について相談していきます。

前立腺がんは早期発見・早期治療により、根治治療が期待できます。また、薬物療法も有効なことが多く、進行がんと診断された場合でも治療効果が期待できます。検査や治療内容に不安がある場合は、主治医に遠慮なくご相談ください。ご自身に適した治療法を一緒に考えていきましょう。



ロボット支援手術の様子です。写真中央の支柱からロボットの操作アームが右側に伸びており、患者さん側にロボットが配置されます。助手の先生が手術の進行を補助します。術者は、写真左側奥のコンソールに座って遠隔操作で手術を行います。



コンソールで操作する術者です。モニターの画面をのぞき込んで術野を確認し、手足で操作装置を操り、遠隔でロボット手術を行います。



麻酔科科長
福岡 直

教えてドクター 《 麻酔科 》

Q & A

慢性的な痛みでお困りではありませんか？
当院では、麻酔科専門医による「痛みの診療
(ペインクリニック)」を行っております。

手術後に続く慢性の痛みについて

Q. 手術が終わり退院してからも手術をしたところやその周りの痛みが続いています。手術の傷は治っているように見えますが何か原因があるのでしょうか。

A. 手術後の痛みは多くの場合、数日から数週間で次第に和らいでいきますが、手術の傷が治ってから3ヶ月以上持続する慢性の痛みが残る場合は「遷延性術後痛(chronic postsurgical pain: CPSP)」と定義され、何らかの対応が必要とされています。

Q. 術後の慢性痛はどのような手術で起こりやすいのでしょうか？

A. 胸を開くような侵襲の大きな手術だけでなく、乳房切除術や鼠径ヘルニア修復術など比較的小さな手術でも高頻度に発症します。手術全体の10~50%に起こり、そのうち2~10%は日常生活に支障をきたすような辛い痛みを伴うといわれています。

術後慢性痛を起こしやすい手術

術式	慢性痛(%)	強い慢性痛(%)
乳腺、乳房手術(乳房切除など)	11 ~ 57	5 ~ 10
開胸手術	5 ~ 65	10
鼠径ヘルニア修復術	5 ~ 63	2 ~ 4
膝関節置換術	13 ~ 44	15
帝王切開	6 ~ 55	5 ~ 10
四肢切断術	30 ~ 85	5 ~ 10

Schug SA, et al. Pain Reports 2(2017)

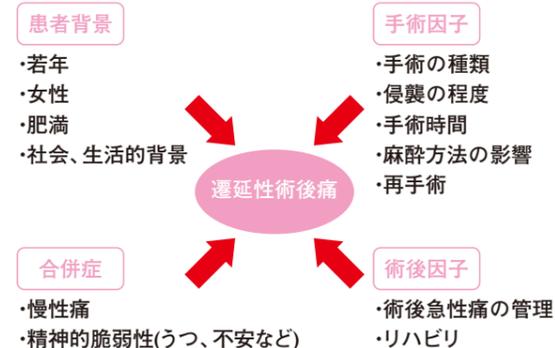
Q. 術後の慢性痛はどのようにして起こるのでしょうか？

A. 発症のメカニズムは非常に複雑で、手術の種類以外にも発症しやすい原因(危険因子)として、若年、女性、肥満、社会・生活的背景、遺伝的素因、術前からの慢性痛、精神的脆弱性、術中管理、術後急性痛の管理や低栄養、免疫機能低下などが挙げら

れます。さまざまな因子が関係している複合的病態といわれています。

現在では周術期(手術前から手術後まで)においてさまざまな予防法が検討されていますが、十分なエビデンス(根拠)が得られた方法は確立されていません。

遷延性術後痛の危険因子(原因となりうる要因)



日本ペインクリニック学会誌 Vol.25 No.4, 2018(一部改変)

Q. どのような治療方法がありますか？

A. 治療方法には大きく分けて
1)薬物療法
2)神経ブロック・トリガーポイント注射
3)精神・心理的アプローチ(カウンセリング・認知行動療法、運動療法など)
が基本となります。原疾患の治療が終わってしまうと慢性的な痛みの治療だけを担当医が継続してフォローすることは難しい場合もあります。慢性痛は一般的な鎮痛薬の効果が得られにくいことが多く、治療には多面的なアプローチが必要となります。また、これらの痛みは日常生活に支障をきたす大きな原因ともなります。当外来ではこのような痛みに対して、十分な問診のうえで痛みの原因、性質、種類を判断し治療を行います。

【外来のご案内】

《診療日》毎週水曜日 ※完全予約制となります 《場所》本館2階7番ブース

新規導入 医療機器の紹介

医療用電動ベッド

当院では入院生活をより快適にお過ごしいただけるよう、療養環境の整備に努めております。この度、令和4年度および令和6年度の2年間で、院内の医療用電動ベッドを順次更新し、ほとんどのベッドが新しいタイプとなりました。新しいベッドは、患者さんの快適性と安全性を第一に考えた設計です。また、すべてのベッド用マットレスも体圧分散マットレスに変更しました。体圧分散マットレスは、体にかかる圧力をやさしく分散する構造で、長時間横になってもお尻や背中などへの負担が少なく、床ずれ(褥瘡)を予防する効果が期待できます。

ベッドの特長

◎分かりやすいボタン操作で、背もたれや足元の角度を調整できます。
◎体を起こしたり、寝返りを打ったりする動作が楽になり、リハビリやお食事の際にも役立ちます。



マットレスの特長

◎表面に凹凸(ディンプル)加工を施すことで、体にかかる圧力を分散し、快適な寝心地が続きます。
◎適度なやわらかさと反発力があり、寝返りや起き上がりをサポートします。

◎ベッド柵は、清拭しやすい設計で、常に清潔さを保ちやすく、衛生的で感染対策にも有用です。



体・病院の素朴な疑問に答えます

なぜに抗菌薬(抗生物質)は効くの？

なぜとは、上気道(鼻やのど)にウイルスや細菌が感染して炎症が起こったものです。発熱やくしゃみ、鼻水、鼻づまり、のどの痛み、せきなどの症状がみられます。原因は90%以上がウイルスで、残りの10%ほどが細菌によるものです。

抗菌薬は名前のとおり、細菌をやっつける力がありますが、残念ながらウイルスをやっつけることはできません。ウイルスと細菌は全く違う微生物なのです。

このため「なぜには抗菌薬は効かない」と言えます。なぜは体の免疫でウイルスをやっつけて治っていくますが、その間解熱剤やせき止めなど症状を和らげる薬を使うこともあります。

なぜの時に抗菌薬をのむと、効かないばかりか、抗菌薬が効きにくい菌(耐性菌)が体が増えてしまうことがあります。そして肺炎などの感染症にかかったときに、この耐性菌により治療に困ることがあります。抗菌薬は、医師から処方されたときに

ウイルスが原因の感染症
(かぜ、インフルエンザなど)



細菌が原因の感染症
(中耳炎、肺炎など)



抗菌薬(細菌に効くお薬)



病院創立100周年記念式典・特別講演を開催しました

福井赤十字病院は、2025年4月1日に創立100周年を迎えました。これを記念して、6月14日(土)に記念式典および特別講演を開催し、福井県や嶺北11市町、医師会をはじめとする関係団体、地域の医療機関、当院職員など約150名が出席しました。

式典では、日本赤十字社福井県支部の杉本達治支部長が式辞を述べ、日本赤十字社清家篤社長による挨拶、福井市長や福井県医師会会長、福井大学医学部長よりお祝いの言葉を



いただきました。当院の小松院長からは、「これからの100年」に向けて、医療従事者の育成や病院間の連携強化、急性期医療の充実に力を入れていく決意が語られました。特別講演には、福井県出身で前象庁長官の森隆志氏をお招きし、「自然災害に備えるために『災害のリスクと気象庁の取り組み』を

の備えの大切さや気象庁と赤十字の連携について、わかりやすくお話いただきました。また、当日は過去に掲載された福井新聞の記事とともに、当院の100年の歴史を振り返るパネル展示も行い、ご出席いただいた皆さまに当院の歩みを知っていただく機会となりました。これからも地域の皆さまに寄り添いながら安心・安全な医療をお届けできるように、次の100年に向けて努力を重ねてまいります。

公開中! 福井赤十字病院100周年記念動画



YouTubelは
こちら

創立100周年記念事業 病院祭開催のお知らせ

- 日時: 令和7年10月18日(土)9:30~
- 場所: 福井赤十字病院
- ※詳細は決定次第、病院ホームページにてご案内いたします。

<本書のポイント>

章立て	見どころ
①がん診療	がんの診断と治療の選択肢、新しい情報をわかりやすく解説
②高度医療	ロボット支援手術など、命を救う高度な医療技術を紹介
③一般診療	身近な病気の知識や健康づくりのヒント、患者さんに関わる病院の仕組みを掲載

イラスト・図が豊富で、専門用語もすべてふりがな付き

ご自身の健康づくりやご家族のものも備えに役立つ一冊



創立100周年の節目に合わせ、当院職員の力を結集した冊子を5月28日に刊行いたしました。読んでみて感じたことをお聞かせいただくと、私たちの励みになります。ぜひお手にとってご覧ください。

「病院創立100周年記念」書籍「医療の力 福井赤十字病院」発行のお知らせ

災害に備える

水害

今号からシリーズで災害への備えについてお届けします。第1回は「水害」です。

近年、全国各地で水害が発生しており、福井県でも福井豪雨や南越前町豪雨など、深刻な被害が発生しました。地球温暖化の影響で、これまでにない激しい雨が降ることが増えています。

皆さんは、水害に対してどのような備えをされていますか？

まずは、お住まいの地域のハザードマップや天気予報を確認しましょう。近年、天気予報の精度が大きく向上しており、予測が立てやすいため、早めの避難につながります。

特に高齢者や小さなお子さんがいるご家庭では、移動や準備に時間がかかることを考え、早めの行動を心がけてください。また近所に高齢者のみの世帯や一人暮らしの方がいらっしゃる場合は、「大丈夫ですか？」と声をかけ合うなど、地域で助け合う気持ちも大切です。

やむを得ず、水をついた道を歩く場合は、スニーカーなど脱げにくい靴を選んでください。長靴や、どうせ濡

れるから...とサンダルや裸足で歩くことは大変危険です。

また、水害には、がけ崩れや土石流の危険もあります。山の斜面近くにお住いの方は、できるだけ2階や、斜面の反対側へ避難しましょう。田畑が心配でも決して様子を見に行かないようにしましょう。

水害は、突然起きる地震と違い、「事前に備える」ことができます。自分や家族の命を守るため、日ごろからの備えを心がけましょう。



Instagram PICK UP

福井赤十字病院公式SNS(Instagram)でご紹介した記事の一部をピックアップしてお届けします。院内外のイベントの様子やスタッフの取り組みなど、リアルタイムで発信中です。誌面で興味を持たれた方は、ぜひInstagramもご覧ください。皆さまの「フォロー」や「いいね!」をお待ちしています。



認知症患者さんの穏やかな療養生活のために



2024年12月末から「認知症マフ」を使った取り組みを始めました。毛糸で編まれたマフは、認知症の方や手術後の混乱状態にある患者さんの手を温かく包み、触覚や視覚を刺激することで安心感や落ち着きをもたらします。院内ボランティアや「大野編み物を愛する会」の方々や制作に協力いただき、患者さんの笑顔や穏やかな時間が増えています。今後もこの取り組みを続けていきます。
#認知症マフ



患者さんと音楽でつながる時間 定期演奏会再開



創立100周年を機に、約5年ぶりに院内演奏会の定期開催を再開しました! 4月はリコーダー、アルトサクソ、ピアノ演奏など、多彩なプログラムを実施。患者さんや付き添いのご家族が生演奏を楽しみました。参加型プログラムでは、手拍子しながら一緒に歌い、会場は温かな雰囲気になりました。今後も本館1階エントランスホールで開催予定です。ぜひご参加ください!
#定期演奏会



1日も早い回復を祈って ずずらんの寄贈



今年もANAグループのご厚意により、ずずらんの切り花としおりをご寄贈いただきました。当院への寄贈は今年で65回目となります。当日は客室乗務員の水田もえさんが、看護師2名とともに入院患者さんに切り花としおりを手渡しました。しおりには、ずずらんの花言葉にちなみ「みなさまにしあわせがふりそそぎますように」との温かいメッセージが添えられています。
#ずずらん

